

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業創造課
担当名：ものづくりイノベーション推進
内線：3735 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P12	技術イノベーション創出支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	なし				針路 分野施策	11 1101	稼げる力の向上 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-5
1 事業概要 県内産業界に製造業を核としたイノベーションを創出させる環境を作るため、企業のフェーズに応じた支援を行う。 ア 技術開発フェーズの中小製造業支援 △7,285千円 イ 社会実装フェーズの中小製造業支援 △183千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 技術開発フェーズの中小製造業支援 110,713千円 将来の成長が見込まれる技術や製品の開発を対象に補助金を交付する。 イ 社会実装フェーズの中小製造業支援 19,968千円 本格的に事業化(量産化)し成長を目指す企業に対する課題を抽出し、必要な支援を実施する。 (2) 事業計画 ア 技術開発フェーズの中小製造業支援(補助事業名：次世代ものづくり技術活用製品開発費補助金) (7) 分野 高度なデジタル、バイオ、マテリアル、カーボンニュートラル ※アグリテック/フードテック、サーキュラーエコノミーに関する技術開発は審査で加点 (4) 補助額 通常枠 上限10,000千円(補助率2/3) × 7件程度 小規模事業者枠 上限 5,000千円(補助率3/4) × 7件程度 (5) 対象 県内中小企業 イ 社会実装フェーズの中小製造業支援 (7) 資金調達が課題の企業に、「民間資金支援ネットワーク」からアドバイザーを派遣し、事業計画書の作成やファイナンスメンタリングなどを実施 (4) 市場ニーズへの適合などマーケティングが課題の企業に、開発した製品・技術の改良や実証試験に要する費用を補助 (3) 事業効果 ア 新たな技術開発に取り組む県内企業が増え、企業の付加価値向上が図られている。 イ 自社に適した資金調達を実施し、民間資金等の投入による企業成長が図られている。 【活動指標(アウトプット)】製品開発支援 14件 アドバイザー派遣数 5件 実証支援 10件 【成果指標(アウトカム)】事業化(量産化)によって生み出された付加価値額 126,000千円 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 民間資金を県内に呼び込むため、県内金融機関を始めとする資金提供側と連携する。 (5) 補正予算の概要 ア、イ 事務費の節減による減 △517千円 ア 審査員が謝金を辞退したことによる減 △757千円 ア 補助金交付額が見込みを下回ることによる減 △6,194千円						
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
		繰入金								
決定額	△7,468	△7,468						0	130,681	
現計額	138,149	138,149						0		

事業内訳書

事業名	技術イノベーション創出支援事業		
単位事業名	技術開発フェーズの中小製造業支援	予算額	△ 7,285千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 産業振興・雇用機会創出基金繰入金	△7,285	—	
合計	△7,285	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△757	—	審査員が謝金を辞退したことによる減
旅費	△311	—	事務費の節減等による減
需用費	△5	—	事務費の節減等による減
役務費	△18	—	事務費の節減等による減
負担金、補助及び交付金	△6,194	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減
合計	△7,285	—	

単位事業名	社会実装フェーズの中小製造業支援	予算額	△ 183千円
-------	------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 産業振興・雇用機会創出基金繰入金	△183	—	
合計	△183	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△33	—	事務費の節減等による減
委託料	△150	—	事務費の節減等による減
合計	△183	—	